

## W E N S ( ウ エ ン ズ ) シ ス テ ム の 運 用 実 績

## 5 R - 9

中西啓倫、吉田賢、九鬼敏彦、国府誠

長谷川洋太郎、山形毅章 ( J R 西 日 本 )

J R 西日本の旅行業システムである「W E N S ( ウ エ ン ズ ) シ ス テ ム」が平成元年6月に稼働を開始してから半年が過ぎた。この間、段階的に機能拡充を行いながら次第に稼働実績も上がってきたので以下に報告する。

## 1. システムの稼働率

ホストコンピュータはデュプレックス構成で、原則として午前9時から午後8時までオンライン稼働している。

当システムに接続されている端末は、当初の94台(販売端末89台、在庫管理端末5台)から現在145台(販売端末125台、在庫管理端末20台)となっており、東京から福岡まで62箇所(四国を除く)の営業所に設置されている。

平成元年6月から11月までのシステム稼働状況は下表のとおりである。

WENSシステム稼働状況表(単位:分)

	運用時間	障害時間	稼働時間
6月	19,800	-	19,800
7月	20,460	19	20,441
8月	21,060	-	21,060
9月	19,800	-	19,800
10月	20,460	24	20,436
11月	20,460	48	20,412
計	122,040	91	121,949
$\text{稼働率} = \frac{\text{MTBF}}{\text{MTBF} + \text{MTTR}} = 0.9991$			

## 2. 段階的機能拡充とシステム取扱実績

「小さく生んで大きく育てる」ことをモットーとした本システムは、半年間に段階的機能拡充を実施し、その結果システム取扱実績も次第に向上してきた。(下図参照)

(1) 8月及び10月期における機能拡大主なものは以下のとおりである。

- ①消費税に対応した出力を可能とし取扱商品の拡大を図った。
- ②中継発売(在庫の予約のみで、券片出力を伴わないで発売する形態)機能を付加した。
- ③自動予約(発売開始日以前に登録し、発売開始日にマルスに対してJ R 券の自動予約を行う)機能の効率を向上させた。
- ④日跨りの収入管理を可能とした。
- ⑤テレックス通知の出力内容を充実させた。
- ⑥全販売端末へのメッセージの一斉通知機能を付加した。
- ⑦ファイルメンテナンス機能を拡充した。
- ⑧その他各種管理資料の出力を可能とした。

## (2) 企画商品の拡大

秋及び冬の旅行業商品を柱にして、企画商品の収容コースを拡大した。コース数は当初の約200が4倍の約800となっている。

特に、「シュプール号スキープラン」は、当社の目玉商品であり、きめ細

The Actual Working Results of The W E N S System

Hiromichi NAKANISHI, Masaru YOSHIDA, Toshihiko KUKI, Makoto KOKUFU  
Yohtaro HASEGAWA, Takeaki YAMAGATA ( WEST JAPAN RAILWAY COMPANY )

かい販売機能及び販売促進情報提供機能の充実を図った。この結果、当商品については、前期の約2.7倍の商品設定に対して、システムを使用した販売の目処がついた。

### (3) JR四国の加入

11月には、他社における旅行業の在庫管理端末及び販売端末の本システムへの加入が図られた。

この際、データベースの情報を中心として、会社間のセキュリティーを確保する措置を取った。

具体的には、以下の方法で行った。

システム使用効率を考慮し、ファイル等のシステム資源を物理的に分割するようなことはせず、各レコード内に会社を識別できる会社コードを持たせ、販売系プログラム内で端末の会社コードと照合し、コードが一致しない場合はエラーとする方式で実現した。

また、在庫管理については、会社別にプログラムを起動する方式とした。

### (4) 在庫管理端末の活用

在庫管理端末は、当初システムセンターにのみ設置されていたが、商品登録、在庫調整のための運用方式を確立し、それに伴うソフトウェアの整備をおこなった後、商品設定箇所である本社及び各営業支店に分散設置した。

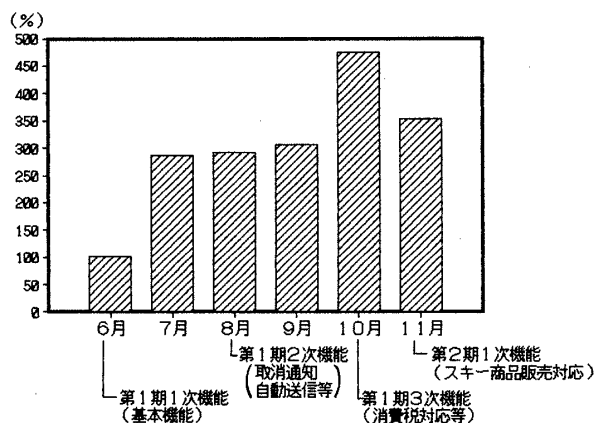
その結果、各箇所でタイムリーな商品登録、在庫調整が可能となった。

### (5) システム活用リーダーの指定

当システムは、ユーザーオリエンテッドの「マイシステム」を目指している。例えば、各営業所に指定されたWENSシステム活用のためのリーダーがおり、彼らがシステム改善について現在最も有効なものから建設的な意見を述べるといのように、システム改善についての重要な役割を担っている。

以上、半年間の実績概要を述べたが本システムは今後も順次機能拡大を計画しており、一層の稼働実績向上を目指す所存である。

WENSシステム取扱実績(売上高・JR四国を除く)



WENSシステム取扱実績(コール数)

